

2024/1 Vol.107

医療法人 耕仁会 だより

# まごころ



新年あけましておめでとうございます。  
昨年中は大変お世話になりました。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 開院80周年を迎えて ..... 2
- 第16回北海道アルコール・薬物依存予防、  
早期発見、解決市民フォーラム ..... 2
- 病気コラム「うつ病」 ..... 2
- 札幌太田病院80年の歩み ..... 3
- 日本精神保健福祉士協会全国大会で発表 ..... 3
- 満足度調査結果 ..... 3
- 秋の外出レクを行いました(セージュ山の手) ..... 4
- 特定技能外国人への日本語指導(セージュ新ことに) ..... 4
- 「くるみん」取得を目指して ..... 4
- ご近所探訪 Cafe&Trattoria「Polaris」さん ..... 4



## 開院80周年を迎えて

平素は当院に格別のご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。昨年11月11日をもちまして当院は開院80周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。昭和18(1943)年、札幌市最初の民間精神科病院として設立されたのは、先の大戦中でした。戦中は初代院長も徴兵され、敗戦の混乱、戦後の食糧不足、院長の急逝など少なくない困難がありました。7人の院長がバトンを繋ぎ、歴代職員と共に今日までこの地で精神科医療と障がい者福祉を継続して提供することができました。

「より良き奉仕せんと神に人に感謝して」

80年を経た現在も創立時の精神を引き継ぎ、利他の精神で、利用者様、地域社会に貢献して参る所存でございます。

戦後80年が経過し、世界は再び動乱の時代に入り、日本も戦争に巻き込まれそうな情勢です。亜細亜人同士戦わず、平和な世が続くことを祈りながら、自分達に出来ることを誠実にやり、責任を果たして参ります。

末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

医療法人耕仁会 札幌太田病院 理事長・院長 太田 健介



## 第16回北海道アルコール・薬物依存予防、早期発見、解決市民フォーラム

### 事務局から

昨年10月21日(土)、かでの2・7におきまして第16回北海道アルコール・薬物依存予防、早期発見、解決市民フォーラムを開催しました。山本医師による講演、回復者の体験談5題と職員の研究発表4題の発表がありました。回復者の体験発表では、アルコール依存症、ギャンブル依存症からの回復体験を発表していただき、入院治療や自助グループに参加しての心や行動の変化について聞かせていただきました。山本医師からは「人はなぜ依存して、どのように回復するのか」という内容で2つの仮説から講演していただきました。職員の研究発表では、自傷行為と自己表出の関連性、依存症者の生きづらさに関する考察、症例研究、オンライン断酒会についての検討など多くの学びが得られました。今後も当院での治療経験や実践例を地域社会に発信していきたいと思っております。(1階デイケア 菊地)

講演した山本医師 ▶



### アルコールフォーラムでの 研究報告と今後の サポートについて

この度、研究、発表の機会をいただきました。自傷行為を行う患者様の自殺企図の表出について着目しました。自傷行為をしたい気持ちの把握は難しいので、自傷行為の置換、ピアサポート、SSTなどに参加を促し、自己表出サポートを続けていきたいと思っております。(急性期病棟 鈴木)



### 研究報告を発表して

医療職員による研究発表を行いました。研究を進めていく中で、アルコールの問題を抱えた方への支援について自身の学びを深めることができました。得られた知識を今後の支援にも活かしていきたいと思っております。(1階デイケア 河原)



### 研究発表を通して

「依存症者が抱える生きづらさに関する考察」をテーマに発表させていただきました。少しでも発表を聞かれた皆様の参考になればと研究を進めておりましたが、私自身も学べたことが多く、今後の支援に活かしていきたいと思っております。(地域福祉課 金子)



### 脱依存フォーラムに 参加して

この度、脱依存フォーラムに参加の機会をいただき、アンケート調査の際や会場発表で患者様の声や想いを直接聞かせていただく機会を得ました。ご家族の支えや自助グループでの交流が、依存から立ち直る大きな力になっていると感じました。(2階病棟 ニツ川)



## 病 気 コ ラ ム 「 う つ 病 」

うつ病とはある程度強い「うつ状態」が長く続き、日常生活に支障をきたす病気です。うつ病はDSM-5の(米国精神医学会「精神障害の診断と統計のマニュアル第5版」)では「大うつ病性障害」と呼ばれ、「抑うつ気分(悲しみや空虚感、絶望など)」「興味または喜びの喪失」のうち、少なくとも一つを認めること。そして、「食欲や体重変化」「睡眠障害」「精神運動焦燥(イライラや焦りなど)または制止(意欲や自発性を失うなど)」「疲労感や気力の減退」「無価値観や罪責感」「思考力や集中力の減退」「自殺念慮(死にたいという強い気持ち)や自殺企図(自殺未遂行動)」など9項目の症状のうち、5つ以上が2週間以上、ほとんど1日中、毎日見られることが診断基準となります。

大うつ病性障害は、さらに「メランコリー型」「非定型」「季節性」「精神病性」など幾つかのタイプに分けられ、症状や経過が異なります。うつ状態を示す他の精神障害として「適応障害」「躁うつ病」「気分変調症」「統合失調症」などがあります。また、うつ状態は、心疾患や脳血管疾患、甲状腺機能低下症のような身体的な病気が原因で現れることもあります。アルコール、ステロイドやインターフェロン製剤など、薬物の影響によるうつ状態も考えられます。一見、認知症かと思われる言動がうつ病の症状であったり、うつ状態が認知症の前駆症状であることもあります。うつ病かどうか、うつ病であればどのようなタイプなのか。正しい診断と治療を受けるには精神科や心療内科で専門的な診察を受けることが大切です。

# 札幌太田病院80年の歩み

初代院長 太田清之は明治36(1903)年11月11日出生。北海道帝国大学医学部で内村祐之教授の講義を聞き、精神科の難しさと崇高さに感激し、精神科の医師を志しました。

教授の推薦で、清之は秋田県立代用秋田脳病院の院長として派遣されました。

昭和18(1943)年春、札幌に戻り、太平洋戦争も末期、日本は連合国軍に追い詰められて敗色濃厚で、建築資材も欠乏している中、同年11月11日、「太田病院」を開院しました。太田清之40歳の時のことでした。

その当時、山の手は柏の木の森と畑だけという田舎で、近くに農家が2、3戸あるだけの寂しいところでした。夜ともなるとカエルの鳴き声や虫の音が響き、発寒川の水の流れる音も聞こえました。

昭和20(1945)年8月15日、日本は敗戦を迎えました。

戦後の食糧事情の悪化は厳しいものでした。清之は、病院食を少しでも良いものにするために、畑仕事に精を出し、家畜の飼育にも力を入れました。

開院当時は看護師の確保に大変苦勞し、大学から看護師を派遣してもらい、難局を切り抜けました。患者様はもちろんのこと、職員に対しても非常に心を配り、大切にしました。

昭和36(1961)年5月、清之が脳梗塞で倒れ、6月9日に帰らぬ人となりました。57歳でした。動物を愛し、自然と共に生きた清之院

長でしたが、その人生訓は「太陽が沈んだら寝ろ、太陽が出たら起きて働け」というシンプルなものでした。

太田トシが2代目理事長となり、宮村厚夫医師が急遽院長を引継ぎ、その後羽金與平医師が、更に加藤喜久医師が院長となり診療を継続しました。

昭和49(1974)年太田耕平医師(当時33歳)が6代目院長に就任しました。

「病棟しらかば断酒会」を発足し、北海道最初のアルコール症病棟を開設するなど依存症治療に注力しました。また、CT、MRIを導入し近代化し、更に、平成元年に介護老人保健施設セージュ山の手、平成10年に介護老人保健施設セージュ新ことに開設し、高齢者介護を充実させていきました。また、いじめ、家庭内暴力、シンナー乱用など非行、不登校など思春期の症例について熱心に対応しました。

平成12年日本医療機能評価認定病院となり5回継続、令和2年には北海道札幌市依存症専門医療機関に指定されました。精神科グループホーム43室、認知症対応型グループホーム18床、共同住居・福祉ホーム72室と拡充し、患者様を地域で支える体制を整えています。

先人の志と努力、周囲の皆様の支えがあって、80年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

## 日本精神保健福祉士協会全国大会で発表しました

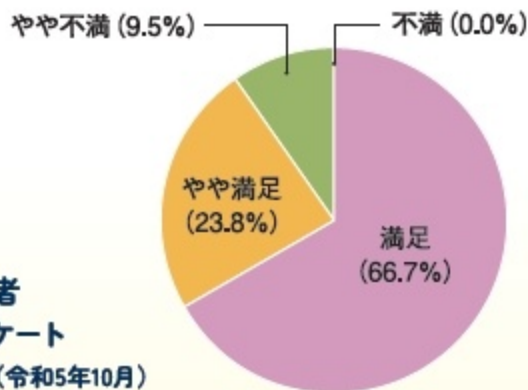
令和5年11月3日～4日に愛媛県にて開催された第58回日本精神保健福祉士協会全国大会に参加し、「思春期インターネット・ゲーム障害の児に対するCRAFTの実施」について研究発表をさせていただきました。依存症家族プログラムであるCRAFTを独自に改編し、当院のネット依存家族会にて実施した効果を検証しました。親子関係の改善、家族の負担軽減、本人が治療に繋がるなどの効果がみられ、インターネット・ゲーム障害患者の家族へのCRAFTの使用について様々な考察を得ることができました。全国大会全体では「社会的復権」がテーマに掲げられ、長期・社会的入院や医療保護入院制度など人権擁護に関する現在の精神医療の課題について多く触れられており、精神保健福祉士として考えを深められる良い機会となりました。(地域福祉課 小山)



## 満足度調査結果

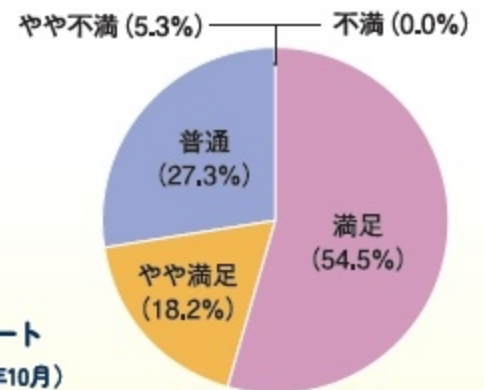
当院では入院されている方に「退院時入院者満足度アンケート」と「食事満足度アンケート」にご協力いただいております。集計結果は以下の通りです。様々なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後もさらに医療、介護、食事、サービスの質を高めるべく精進してまいります。(情報管理課 菊地)

### ◆退院時入院者満足度アンケート 五段階評価(令和5年10月)



満足	やや満足	やや不満	不満
14人	5人	2人	0人
66.7%	23.8%	9.5%	0.0%

### ◆食事満足度アンケート 五段階評価(令和5年10月)



満足	やや満足	普通	やや不満	不満
12人	4人	6人	0人	0人
54.5%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%

### 食事についてのご意見や感想

- 体の塩分などに気をつけていると思います。
- 私はお野菜、お肉、お魚全て大好きなので毎食とっても楽しみでした。美味しかったです。気に入ったメニューお家で作ってみます。ごちそうさまでした。
- 毎日、楽しみにおいしく食べさせて頂きました。
- とうふ系のご飯がおいしかった。ジンギスカンもおいしかった。

- これからも、おいしいものを作って頂けると嬉しいです。
- 食事はとても良く美味しいと思う。
- 量が多くて食べきるのが大変でした。誕生日のときのケーキがでたのが嬉しかったです。

セージュ山の手

# 秋の外出レクを行いました



令和5年10月吉日、秋の深まりを感じながら白い恋人パークへ行ってきました！おいしいソフトクリームを食べながら、昔の思い出話に花を咲かせておられました。時期が近い事もあり、ハロウィーンの飾りやお庭に咲いていたダリアも印象的でした。帰り道では山の紅葉に季節を感じ、楽しい一時を過ごす事が出来ました。皆様「また来年も行きたい」と笑顔が見られていました。今後も皆様がい思い出に残る活動を企画していきますのでどうぞお楽しみに！〈セージュ山の手 介護課長 三塚〉



## 札幌太田病院 基本理念

「患者さまの幸福な人生のために」  
正しい診断  
適切な治療と教育  
温情ある援助

## 基本方針

1. 精神障害者が求める、自立のための質の高い医療、看護、社会復帰支援サービスおよび家族支援を提供する。
2. 要介護高齢者などが求める、自立または質の高い生活の実現のために、質の高い介護、医療、リハビリテーションを提供する。
3. いかなる場合も、患者さまの権利を尊重する。
4. 自己の業務について、常に問題点の研究と、技術の向上に励み、過ちなきを期す。

## 患者権利に関する宣言文

札幌太田病院は、次に掲げる、患者さまの権利を尊重いたします

- ・良質な医療を公平・平等に受ける権利
- ・治療に関する疑義を遠慮なく職員にたずね情報を共有し、安全確保を保証される権利
- ・治療の詳しい説明を開始、経過、終了時に受ける権利
- ・自分の治療計画策定に参加し、自分の意思を表明し、自己決定できる権利
- ・入院から退院以降を含む治療・支援を一貫して受ける権利
- ・診療過程で得られた個人情報の秘密（プライバシー）が守られる権利
- ・退院請求及び治療・対応に対する不服申し立てをする権利
- ・生活の質（QOL）と生活背景に配慮がなされた医療を受ける権利

セージュ新ことに

目指すはN3合格！



# 特定技能外国人への日本語指導

セージュ新ことには、昨年9月12日よりインドネシアから特定技能外国人を2名受け入れています。2人とも最初は不安と緊張もありましたが、今では笑顔で職員やご利用者に接しています。しかし、どうしても戸惑ってしまうのが日本語での会話…日本人の会話のスピードについていけず、知らない言葉も多くあります。そこで職員が週3回の授業の他、自宅学習のサポートもしています。

目標は来年度中の日本語能力試験N3への合格！

〈セージュ新ことに 地域連携相談課 平戸〉



## 「くるみん」取得を目指して

当法人は札幌市ワークライフバランスPlus認定企業、さっぽろ市民子育て支援宣言企業の認定企業です。次は「くるみん」の認定を目指しています。「くるみん」とは、「子育てサポート企業」として、「厚生労働大臣」の認定を受けた証です。育児休業取得率など企業としての行動目標を設定し、それを達成した場合に認定を受けることができる制度です。男性の育児取得率10%以上などの条件があります。

〈法人本部 篠田〉



ご近所探訪

## Cafe&Trattoria「Polaris」さん

第12回は「Polaris」さんをご紹介します。毎回、お店のホームページを見て注文するのは事前に決めていきます。今回は「11月限定」メニューにしました。お店の中は思ったより広く且つおしゃれです。キッズスペースもあり小さなお子様と一緒に遊ばせておくことができるようになっていました。注文したのはランチメニュー「秋鮭とたっぷりキノコのベベロランチ」。前菜、スープ、ドリンクも付いていました。前菜は説明を受けましたが、聞いたことのない名前野菜ばかりでした（無知で恐縮です笑）。旬の食材を頂きとても美味しかったです。季節柄、クリスマスツリーも飾ってあり、そちらもとても綺麗でした。〈事務長 大槻〉



住所 / 札幌市西区山の手2条7丁目2-15  
(札幌太田病院から徒歩10分)

医療法人 耕仁会

## 札幌太田病院

SAPPORO OHTA HOSPITAL

心療内科・精神科・内科・放射線科

平日	午前 9:00 ~ 13:00 午後 14:00 ~ 17:00
土曜日	午前 9:00 ~ 13:00
休診日	日曜・祝日

〒063-0005  
北海道札幌市西区山の手5条5丁目  
**tel.011-644-5111** (代)  
fax.011-644-1001

<https://www.sapporo-ohta.or.jp/>

✉ [info@sapporo-ohta.or.jp](mailto:info@sapporo-ohta.or.jp)

「北海道医療センター前」バス停徒歩1分  
地下鉄「琴似駅」より無料送迎バスあり